

令和 8 年 2 月 10 日 開 会

令和 7 年度第11回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和7年度 第11回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和8年2月10日(火)	教育長 明石 浩久	教育総務課長 小池 康之
午後2時30分 ↓ 午後4時20分	教育委員 吉富 和夫	学校教育課長 川崎 史明
第2研修室	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大迫 隆男
	教育委員 田之上 厚美	
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻から30分遅れとなったが、定足数に達しており、令和7年度第11回教育委員会定例会を開会した。全ての議事事項及びその他事項を、非公開にする旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 前回会議録の承認について

令和7年度第10回教育委員会定例会の会議録について、一部を修正のうえ、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議事

- 報告第2号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第9号)案についての市長への意見申出について
- 報告第3号 令和8年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について
- 報告第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会からの答申書について
- 議案第1号 垂水市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

4 その他

- (1) 令和8年度「垂水市の教育」基本方針(たたき案)について
- (2) 令和8年度教育委員会定例会の日程(案)について
- (3) 卒業式入学式の出席について

5 動議の討論等

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第2号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第9号)案についての市長への意見申出について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの		承認
報告第3号 令和8年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの		承認
報告第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会からの答申書について	垂水市立学校の在り方検討委員会設置要綱に基づく審議結果が、答申されたため報告するもの	特記事項あり	承認
議案第1号 垂水市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について	垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第1号の規定に基づき、会議の議決を求めもの		承認

議 事 内 容 等

3 議 事	
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>報告第2号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第9号)案についての市長への意見申出について (非公開)</p> <p>(承認)</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>報告第3号 令和8年度垂水市一般会計当初予算案についての市長への意見申出について (非公開)</p> <p>(承認)</p>
教育総務課	<p>報告第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会からの答申書について (非公開)</p> <p>(承認)</p>
学校教育課	<p>議案第1号 垂水市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について (非公開)</p> <p>(原案可決)</p>
4 その他	<p>(1) 令和8年度「垂水市の教育」基本方針(たたき案)について (非公開)</p> <p>(2) 令和8年度教育委員会定例会の日程(案)について (非公開)</p> <p>(3) 卒業式入学式の出席について (非公開)</p>
5 動議の討 論等	(なし)

6 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
福里委員	<p>1月20日、中央中学校の研修で、垂水高校と給食センターに研修視察に行かせてもらいました。垂水高校では、「高校進学を見据えて」についてのお話がありました。基本的に生活習慣と学習習慣の確立、その他に主体性の育成、多様な経験が求められているとの話がありました。その他にも、現PTA会長さんも来てくださり、ご自分のお子さんの話をしてくださいました。</p> <p>その話の中で中学校のときは、いろいろなことに消極的だったが、垂水高校に入学して様々なことに積極的に取り組み、その中で何に対しても粘り強くやることの大切さを学んだとありました。様々な検定にも挑戦し、資格を取ることもできたそうです。学校の先生のお話を聞くのも、とても参考になるのですが、実際、垂水高校に行かせている保護者の話を聞くことができ、とても参考になりました。中学校のPTA等でこのような機会があれば、垂水高校の入学者も増えてくるのかなと思いました。</p> <p>給食センターでは、安心安全な学校給食の提供についての話や、施設の見学・説明について聞きました。毎日、安心して給食を子供たちが食べられるのは、本当にいろいろな配慮や努力があつてこそそのものだと感じました。</p> <p>2月7日、垂水市PTA会員研修会に参加しました。その中で教育長の講話、「子供の可能性」を聞かせていただきました。1時間の講話があつという間に過ぎました。話の中で、子供の足りないことだけに目が行きがちだが、元気に生きてることだけで、“はなまる”という話がありました。確かに、子育てをする中で、親は欲が出て、いろいろなことを子供に求めがちなのですが、一番は、まず、健康でいろいろなことに一生懸命頑張る子供を、認めてあげたいなと思いました。涙あり、笑いありの講演会、色々なことを得た講演会でした。</p>
田之上委員	<p>インフルエンザの感染が再び増えていて、ちょっと案じております。児童クラブでもお休みが多くて、少し寂しいなと思う日もあるところです。</p> <p>週末は鹿児島にしては、思いがけず大雪になりました。寒い寒いと言いながらも、心はちょっとワクワクして、子供に戻ったような1日でした。子供たちも、うれしくて外へ出て、雪の中で遊んだかなと思うことでした。</p> <p>垂水小学校の学校運営協議会に出席しました。校長先生より、朝の校門でのあいさつの様子や、子供たちが安全に遊ぶことができるように、ここで遊んではダメではなく、そこを子供たちが遊べるような状況に整備をしようとしていることや、ありがたい言葉を心がけて使うようにしていることなど、日常のことについて、お話がありました。会のはじめ、学校評価のアンケート結果について説明があり、子供たちが学校生活は楽しい、みんなと話合ったり活動したりするのが楽しいなどの評価が高く、子供たちが楽しく学校に来てくれているんだなと思いました。保護者の回答の中では、もっと宿題を出してほしいという方と、家庭学習の目標時間が長過ぎるのではないかと、何か両極端な意見がありました。</p> <p>次に令和8年度の学校経営についての説明があり、新しいキャッチフレーズや土曜授業の実施や通知表についての説明がありました。</p> <p>その後の意見交換で委員の方から学校は子供の心を動かすもの、環境がほしい、心の健康に気をつけてあげてほしい、支援を必要としている子供への対応をしっかりとしてほしい、校門に花を植えたらどうかなどの話が出ていました。</p>

吉富委員

2月4日の市内小学校の国語科の研究公開の案内をいただきました。都合がつかず参加はできませんでしたが、研究内容の概要を伺うことができました。私が思うところは、複式学級における最大の課題である、指導者が別学年の指導に行く、指導者不在の時間が生じるということです。子供たちだけで自学をする中で、児童の中から、学習リーダーを立てて、学習を進めさせたり、児童がお互いに話し合っって課題解決を進めたりする方法はとられますが、なかなか思うように、学習の深まりや発展が見られないのが現状でした。

今回の牛根小の国語科の研究では、タブレットを使って、自分の音読を録音して聞き返し、よりよい音読を目指す姿や、時間ごとの学習内容が記録されたタブレットを持ち帰り、家庭での予習に利用し、次の授業に生かすという繰り返しが効果的に働き、「予習型反転学習」が確立しやすかったのではないかと思います。研究の成果で、「国語が好き・読むことが好き」が、66%から83%、「振り返りや遠隔合同事業に積極的な意見が多くなった」が、41%から58%になり、家庭学習も充実しているとのことで、ここにも「GIGAスクール構想」における垂水らしさが、研究の実りとなって顕われてきていることを感じました。

次に肝属地区保育協議会の第3回園長会が2月4日に開催されました。そこで、令和8年度本格実施される、国の「こども誰でも通園制度」について話題となりました。令和5年に閣議決定された「子供未来戦略」の「加速化プラン」に基づき、この制度が実施されます。この制度を支える財源として、令和8年度から、すべての世代・企業から支援金を拠出いただく、「子供・子育て支援金制度」が開始されます。将来の社会の担い手になる、子供の育ちを応援し、子供の良質な生育環境を整備することができるよう、子供と子育て家庭を支えていくという国の意向です。少子化対策の1つの政策と捉えています。

少子化について次の意見が出されました。今の幼少期から青年期の若い人たちに、私たち大人が自分の失敗談を交えながら、夢を語ったり、豊かな社会や個々人の人生の豊かさについて話し合っってする場がなくなったのではないかということでした。個人の人格向上と、自己実現を追求できる社会の構築を目指し、パートナーとともに歩むことや、家庭を持つことなど、より豊かな人生を歩んでいくことを、先輩が自信を持って次世代に語り、応援しようという話でまとまりました。また、今は便利になり過ぎて、一人でも何も困らなくなったのでしょうかね。という意見もありました。

垂水市においては、GIGAスクール構想を中心に教育改革を進めています。この事業は、質の高い子育て支援にも繋がることと思います。今後は、青年の教育支援、社会教育にも手を広げ、後世にわたって、より盤石な教育施策を構築していきたいと考えるものであります。

葛迫委員

令和7年度生涯学習推進会議が開催されましたので参加しました。協議内容は4項目でした。まず、1項目の令和7年度の生涯学習推進事業の実績報告では、15ある市民講座に224名の受講生、昨年度から始まった小学生を対象にした、夏休み1day市民講座には、定員を大きく超えて44名の受講生が、また、ごみの分類や出し方、絵本の読み聞かせなどの出前講座には379名の受講生が、各地区にある57の公民館講座には、多くの受講生が生涯学習を楽しんでいるとのことでした。

2項目の令和8年度生涯学習推進計画(案)では、「市民が生涯にわたって自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、あらゆる機会にあらゆる場所

で学習できる感環境づくりを図る。」とした基本方針のもとで、生涯学習の推進体制の確立や生涯学習機会の充実、生涯学習基盤の整備などの説明がありました。

3項目の令和8年度生涯学習市民講座の開講(案9では、15講座の市民講座や3講座の夏休み1day市民講座を予定しているとのことでした。

4項目の令和8年度生涯学習のオープニングフェア(案)では、5月16日に市民館大ホールで開催する予定しているとの報告がありました。また、油絵や盆栽、小物づくり講座での作品は、市民館ロビーで展示するとのことでした。

このような推進会議の中で、「男性や若年層の受講生が少ない」との意見がありました。が、「楽しいドッジボール」や、次年度から開催予定の「バスケットボール講座」、夏休み1day市民講座に、男女を問わず学び、そして、小学生を含めた受講生を募集することで、解決を図ってほしいとの旨のことが発表され、次年度の生涯学習市民講座が楽しくなっていくようでした。

先日、2月8日、鹿屋市美術展の授賞式に参加したのですが、この生涯学習で学んでいる、70代の男性が「鹿屋市教育委員会賞」を受賞し、昨年の和田コンでも、2名の受講生が受賞したことは、他の受講生の励みになって学びの喜びを味わい、今後の希望に繋がっていかれると思っています。

教育長

1月14日、松ヶ崎小学校で、学校給食の試食会がありました。毎月1回、学校給食にブリの切り身を提供してくださっている、グローバルオーシャンワークスの代表の方々に感謝の気持ちをお伝えするための交流給食でした。

献立は、ブリの塩麴焼き、七草汁、ご飯を入れたら七草がゆのようになる七草汁でした。給食センターの栄養教諭が、ブりを塩麴につけてくださり、また、身が硬くならないように、焼く温度も190度を超えないようにという指示のもとで、本当に脂が乗ったおいしいぶりでした。グローバルオーシャンワークスの方々も、「おいしい、おいしい」と食べてくださいました。

また、給食の主菜がぶりの日は、残食がないということで、グローバルオーシャンワークスの方々も喜んでくださっていました。

子供たちからは、「年間何匹ぐらいのぶりを切っているんですか。」とか、「社員は何人ぐらいいるんですか。」とか、質問コーナーもあり、和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

本市におきましては、海産物だけではなく、農産物におきましても、地元生産者の方々のご協力のもと、地産地消を取り入れた学校給食の提供を推進しております。地場産物の割合は、金額ベースで約87%と非常に高い割合になっています。地域に支えていただいているなと思っていますところ。

子供たちが、ふるさとの旬の食材を味わうというのは、生産者への感謝に加え、「垂水を体感する、ふるさと垂水を体感する機会」になっていると思っています。

今後も、安全・安心でおいしい給食の提供に努めていけたらと思っています。

また、ICT教育アワードに続きまして、社団法人ICTCONNECT21から教育DX推進自治体表彰2025の受賞を決定いたしました。2023年から3年連続ということになります。

国で審議されているデジタル学習基盤を前提とした、次期学習指導要領にも十分対応していけると思っているところです。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

1月10日から2月10日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、2月11日から3月9日までの行事予定についてお知らせした。

7 閉 会